

撮影場所/東北本線 平泉町



(イメージ)



(イメージ)



(イメージ)

現代と平安時代を映像と光で演出する1号車デッキ。  
1-4号車は木目調の温かいデザインの窓向きのくつろぎ座席。

先頭車は独特なドームを高く設け、485系、黒いボディとメタリックの反転が高級感にあふれています。1-4号車の車内のカラーリングは、平泉の伝統漆器「交野塗」をイメージ。

人気のジパング平泉号の車両が初めてあふくまへ。

## ⑤がっぽろ宮城福島号

◎運転日 6/8・9

JR線(仙台～槻木間) 指定席 阿武隈急行線(槻木～福島間) 自由席

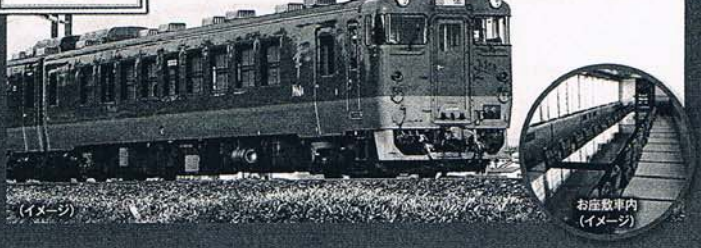
JR線のみ [4両編成]

9:08発 仙台	9:37発 岩沼	9:56発 槻木	10:24発 角田
16:10着	15:52発	15:42発	15:14発
11:07発 丸森	12:42発 梁川	12:56発 保原	13:11着 福島
14:33発	14:05発	13:46発	13:29発

※小さな旅ホリデーバスは、仙台～槻木駅間のみご利用となります。



## 深い、面白い。東北の歴史と文化に触れてみよう。



(イメージ)

お座敷車内 (イメージ)

みちのくの歴史遺産と出会う旅。

## ⑥お座敷平泉世界遺産号

◎運転日 4/27～29、5/25・26、6/22・23 全車指定席 全車指定席 [3両編成]

9:12発 仙台	9:27発 塩釜	9:37発 松島	9:58発 小牛田	11:07発 一ノ関	11:15着 平泉
16:43着	16:27発	16:17発	16:00発	15:03発	14:52発

お座敷列車で春の藤原まつりへ。

## ⑦お座敷藤原まつり

◎運転日 5/3～5

全車指定席 全車指定席 [3両編成]

9:12発 仙台	9:27発 塩釜	9:37発 松島	9:58発 小牛田	11:07発 一ノ関	11:15着 平泉
16:43着	16:27発	16:17発	16:00発	15:03発	14:51発

## 世界遺産 平泉



中尊寺金色堂新羅堂(イメージ) 中尊寺使用許可済



毛越寺本堂(イメージ)

【中尊寺(ちゅうそんじ)】  
中尊寺とは「関山」と呼ばれる小高い山全体を指し、本寺の中尊寺と山内17ヶ院の支院から成る一山寺院です。黄金に輝く金色堂は必見です。  
●交通/平泉駅から徒歩約32分

【毛越寺(もうつうじ)】  
慈覚大師円仁が850(嘉祥3年)に開山し、二代基衡が造営。浄土を表現したとされる浄土庭園は平安の世界へと誘ってくれます。  
●交通/平泉駅から徒歩約14分

## 春の藤原まつり

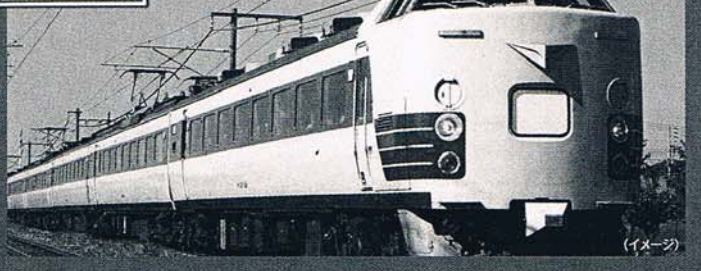
開催期間 2013年5月1日～5月5日

- 1日 稚児行列・郷土芸能
- 2日 郷土芸能
- 3日 源義経公東下り行列
- 4日 白山神社祭礼(中尊寺能)・郷土芸能
- 5日 毛越寺延年の舞・弁慶力餅競太大会



期間中には、稚児行列をはじめとしてさまざまな催しがある中、圧巻するのは3日目の「源義経公東下り行列」。兄頼朝に追われた義経主従が平泉にたどり着き、秀衡の出迎えを受けたという情景を再現したものです。毎年、秀衡・義経・北の方など、それぞれの役柄に合った人が選ばれ、馬や牛車に乗って、山伏姿の弁慶ら武者一行・侍女たちを従えて、毛越寺から中尊寺まで行列します。

●問/平泉観光協会 TEL.0191-46-2110 <http://hiraizumi.or.jp/>



(イメージ)

五十年に一度の御開帳に合わせて、歴史を感じる山寺へ。

## ⑧新緑山寺御開帳号

◎運転日 5/18・19 1～3号車 自由席 4～6号車 指定席 全車指定席 [6両編成]

10:19発 仙台	10:27発 北仙台	10:47発 愛子	11:00発 作並	11:26発 山寺	11:38発 北山形	11:42着 山形
17:10着	17:04発	16:43発	16:30発	15:44発	15:26発	15:22発

## 宝珠山 立石寺



仁王門(イメージ)

### 立石寺根本中堂 御開帳

御本尊薬師如来  
今年、五十年に一度の御開帳でその姿を観ることができます。  
御開帳期間 2013年4月27日～5月31日



根本中堂(イメージ)

【根本中堂(こんぽんちゅうどう)】  
国指定重要文化財。延元元年(1356)初代山形城主・斯波兼頼が再建した建物で、ブナ材の建築物では日本最古といわれています。堂内には、慈覚大師作と伝える木造薬師如来坐像が安置されています。また、伝教大師が比叡山に灯した灯を立石寺に分けたものを、織田信長の焼打で延暦寺を再建したときには逆に立石寺から分けたという、不滅の法灯を拝することができます。

山寺は、正しくは宝珠山立石寺といひ、貞観2年(860)清和天皇の勅願によって慈覚大師が開いた天台宗のお山です。険しい山肌に山門から奥の院まで石段が続きます。芭蕉が「閑さや岩にしみ入る蟬の声」を詠んだ寺としても有名です。  
●交通 山寺駅から徒歩約5分  
●問/山寺観光協会 TEL.023-695-2816  
<http://www.yamaderakankou.com>